

平成 14 年 4 月、本院は「学習院新長期計画」に着手した。計画は、平成 14 年度から平成 23 年度までの概ね 10 年間で展望し、学校経営全般についての長期的、基本的な指針として策定された。途中、平成 19 年 10 月、後半 5 年間にに向けた計画の見直しを行い、教育改革及び経営改革を推進するための主要課題及び実施目標を『「学習院新長期計画」の後半 5 年間の主要課題と展望』として取り纏め、【Ⅰ. 教育研究の高度化と改革の推進】、【Ⅱ. 国際化・情報化の推進】、【Ⅲ. 教育研究改革に対応する施設・設備の整備と拡充】、【Ⅳ. 生涯学習センターの運営方針確立と条件整備】、【Ⅴ. 学習院の歴史と伝統の継承】、【Ⅵ. 財政基盤の強化と経営及びガバナンスの多面的改革】、以上の 6 項目を主な柱として取り組んできたが、平成 23 年度末をもって計画が終了する。最終年度に各学校及び法人で実施予定の主要な事業計画を、以下に記す。

なお、平成 23 年度は「学習院新長期計画」の総仕上げをすると共に、学習院のさらなる発展に向けて、次期将来計画を策定する。

## 【Ⅰ. 教育研究の高度化と改革の推進】

### (1) 大学における新学部及び新学科の設置

平成 23 年 1 月の理事会において、平成 25 年度より大学文学部に教育学科（入学定員 50 名）を新設することが承認された。これを受け、平成 23 年度は教育学科開設準備委員会を中心に、学長室、法人が連携し、人材、施設、財源の確保等、具体的な準備作業に入る。

なお、国際系新学部設置については、引き続き具体化を追求する。

### (2) 大学東洋文化研究所東アジア地域環境学研究センター（仮称）の設置【新規戦略事業】

大学東洋文化研究所内に「東アジア地域環境学研究センター」（仮称）を設置し、①東アジア地域環境学共同研究の拠点形成、②大学院「東アジア地域環境学副専攻プログラム」の実現可能性を検討する。

### (3) 大学における外国語授業支援及び学習支援のための学習管理システムの導入【新規戦略事業】

外国語を身につけるためには、言語に対する強い関心や興味、高い意欲を持ち続け、継続的に学習することが重要である。大学外国語教育研究センターにおいて、最新のコンピュータシステムを活用することにより、授業以外の時間、場所でも外国語を学習できる環境を整える。

### (4) 大学における基礎教養科目の設置

これまで授業の開設については教学部門に限定されていたが、より包括的な学生指導及び教育が必要との観点から、附置研究施設やキャリアセンターや学生委員会といった全学的な委員会等も開設部門に認め、授業科目とする道を拓く。